

評価から評定への総括方法について

<学期末・学年末の観点別学習状況の評価の算出方法>

(1) 手順

- ①各単元における観点別学習状況を「**A = 3 B = 2 C = 1**」として数値化する。
- ②学期末に観点ごとに合計し、平均値を計算する。
※単元によっては重点化、作品等のできばえを考慮する場合は適宜検討する。
- ③算出した数値を以下の基準で判定し、学期末の通知表の観点別学習状況の評価を出す。
「**A ≥ 2.5 以上 B ≥ 1.5 以上 C < 1.5 未満**」
- ④学年末の教科の評定はまず学期ごとの観点別学習状況の評価を合計し、平均値を計算する。
「**3 = 2.5 以上 2 = 1.5 以上 1 = 1.5 未満**」

例	各単元の評価→通知表の評価						
1学期	単元1	単元2	単元3	単元4	1学期合計	平均	評価
知識・技能	A	A	A	A	12	3	A
思考・判断・表現	B	A	B	A	10	2.5	A
態度	A	B	B	B	9	2.25	B
2学期	単元1	単元2	単元3	単元4	2学期合計	平均	評価
知識・技能	B	A	B	A	10	2.5	A
思考・判断・表現	B	A	B	A	10	2.5	A
態度	A	B	B	B	9	2.25	B
3学期	単元1	単元2	単元3	単元4	3学期合計	平均	評価
知識・技能	A	A	A	A	12	3	A
思考・判断・表現	B	A	B	A	10	2.5	A
態度	A	B	B	B	9	2.25	B

年末の観点別学習状況の評価について

学年末	1学期合計	2学期合計	3学期合計	学期合計	平均	評価
知識・理解	12	10	12	34	2.83	A
思考・判断・表現	10	10	10	30	2.50	A
態度	9	9	9	27	2.25	B

学年末の教科の評定について

学年末	平均
知識・技能	2.83
思考・判断・表現	2.5
態度	2.25
合計	7.58
平均	2.52
評定	3

- 重点単元の扱い方
単元における観点別学習状況を「A = 3 B = 2 C = 1」を2倍の「A = 6 B = 4 C = 2」として数値化する。
- 各単元ごとに観点別評価を行うことの意味
誤差を少なくすることができる。
(国立教育政策研究所教育課程研究センター発行資料より)